



令和7年度 高山市立江名子小学校 学校経営構想

○第4次岐阜県教育ビジョンの基本
 自立力→主体的に学び、考え、行動する
 共生力→つながり、認め合い、支え合う力
 創造力→よりよい未来を築いていく力
 ふるさと岐阜で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

○高山市小・学校教育の方針
 未来社会を創造する資質・能力を身に付け、
 学び続ける子の育成
 重点：自分らしく一歩踏み出しのり越え挑戦し続ける子

○学校課題
 新たなことに挑戦する力と一人でもやり抜く力をつける

◇児童が笑顔になる教育の推進
 ・考えをもって主体的に行動できる
自律型学習者の育成
 ・生きる力 確かな学力(知・徳・体)の育成
 ・仲間の思いを汲み、共に高まる人間関係力

■学校の教育目標
笑顔いっぱい 江名子の子 ○まなびあい ○たすけあい ○みがきあい

■育てたい資質・能力 **挑戦する力** ～願いをもち試行錯誤をしてやりぬく力～

【3つの視点】
 ①**挑戦するための根拠となる基礎学力をつける。**(個に伝わるよう教える)
 ②**自律型学習者を育てる。**思考を奪わないで**試行錯誤**で育てる。(内省で育てる)
 ③**委ね任せやりぬかせる。**(信じて任せる)
 笑顔いっぱいの児童育成に向け、**教え育て任せる**

《合言葉》 **小石作戦** (イソップ童話 カラスと水さしから)
 成功へのプロセスを楽しむ 知恵を絞って小さな一歩に挑戦し続ければいつか必ず成果がでる

まなびあい
 学力に責任を持つ

- ・複数の教職員が関わる
- ・教え育て任せる授業(児童の笑顔)
- ・単元を見通した授業構想
- ・個別最適な授業へのチャレンジ
- ・授業後半→何ができるようになったかを「チャレンジタイム」で児童も教師も内省を位置づけポジティブな終末をむかえる
- ・ICTの活用を増やした授業

たすけあい
 すべての子に居場所と絆を

- ・合同朝の会のシステム構築
- ・願いを持たせ見届け、達成感を味わう
- ・仲間のよさを見つけ、共に創造できる児童の育成
- ・物を大事に扱う児童でやさしさを育む(対話 ←→ 人 ←→ 物)
(服をたたむ、机を持ち上げて運ぶ)
- ・正しい判断と行動ができる児童
- ・心の健康づくり(眠育 保健授業)
- ・相談活動の充実(教相 特支)

みがきあい
 児童(保護者・地域)と共に創る

- ・たくましく生きる力につながるもの
- ・小さな事実の積み重ねで自己肯定感の育成
- ・ふるさとでの疑似体験や話を聞く会
- ・家庭と共に生活習慣を確立
- ・業間あそび(体力づくり)や縦割り活動で自分を磨く
- ・地域講師の活用
- ・保護者や地域との連携

複線型で安心・安全の確保と働き方改革でごきげんな江名子小職員

- ・多くの目で児童をみる(教師のスタイル 学習指導の最適化 児童の多様性 職員の持続可能な働き方改革)
- ・内省を重視した職員の学ぶ機会の確保
- ・児童や保護者の「言葉」と「心」に傾聴し、常に高いアンテナを持ち、迅速に対応する教師
- ・いじめ、不登校の未然防止と早期発見・対応のできる教師・組織
- ・「カッコいい大人」、「美しい大人」の人間モデルとなる教師の姿勢
- ・自身の心身の健康管理ができる教師(超過勤務45時間の意識と勤務)

PTAと学校運営委員会を通した保小中、保護者、地域との連携

- ◎江名子地域に根ざした「保・小・中連携教育」の推進
- ・願いの共有……地域と学校との「育てたい資質能力」の共有と見届け
 - ・地域教育の推進……地域を知る ～総合的な学習を核に郷土教育の推進～
 - ・学習環境の整備……地域人材による学習支援を生かした学び方の共有